

## 第 6 期障害者支援計画の構成（案）

※太字ゴシックは第 5 期計画からの変更点

知事あいさつ

## 第 1 章 総 論

## 1 計画策定の趣旨

## 2 計画の概要

- （１）計画の性格
- （２）計画の期間
- （３）計画の基本理念
- （４）障害者福祉サービスの対象
- （５）基本的視点
- （６）計画の枠組み

## 3 推進体制

- （１）全庁的な取組
- （２）埼玉県障害者施策推進協議会における評価
- （３）国に対する支援要請
- （４）市町村計画の策定支援
- （５）様々な意見の反映

## 第 2 章 障害者等の現状と制度改革

## 1 障害者等の数

時点修正

- （１）本県の障害者手帳所持者数（令和元年度末現在）
- （２）発達障害者及び高次脳機能障害者及び難病患者数
- （３）本県の障害者等数

## 2 第 5 期計画の取組状況

時点修正

- （１）数値目標の達成状況
- （２）障害福祉サービスの利用状況
- （３）地域生活支援事業の利用状況（県実施分）

## 3 障害者等に関する制度改革

- （１）**社会福祉法の改正**
- （２）**障害者雇用促進法の改正**
- （３）**読書バリアフリー法の施行**
- （４）**聴覚障害者等による電話の利用の円滑化に関する法律の施行**
- （５）**障害者文化芸術活動推進法の施行**
- （６）**成育基本法の施行**
- （７）**埼玉県ケアラー支援条例の施行**

第 5 期計画策定後の主な制度改革に関する記述を追加。

#### 4 障害者等の現状と問題点

- (1) 相互理解の強化・差別解消の推進について
- (2) 障害者等の地域生活と社会参加について
- (3) 障害者の就労について
- (4) 障害者等の教育について
- (5) 障害者等の安心・安全な暮らしについて

第 8 章の障害者施策推進協議会からの意見を基に県で認識しているものをまとめる予定。

### 第 3 章 取り組むべき課題

- 1 障害者等への理解促進と差別解消
- 2 障害者等の地域生活の充実・社会参加の支援
- 3 障害者の就労支援
- 4 共に育ち、共に学ぶ教育の推進
- 5 安心・安全な環境整備の推進

ワーキングチーム、障害者団体からの意見や、国基本指針などを基に県で認識しているものをまとめる予定。

### 第 4 章 施策体系

### 第 5 章 施策の展開

#### I 理解を深め、権利を護る

- 1 相互理解の強化
  - (1) 啓発・広報活動の推進
  - (2) 福祉教育・地域交流の支援
- 2 差別解消の推進
- 3 権利擁護の取組の充実
  - (1) 権利擁護の推進
  - (2) 虐待の防止**
  - (3) 権利行使の支援
  - (4) 障害当事者の参加

ヒューマンライブラリ（学校や地域で講演できる障害当事者の人材名簿）の体制構築（ワーキングからの意見）

「(1) 権利擁護の推進」から単独項目として追加。虐待防止研修の受講対象者を学校などの関係者まで拡大等（ワーキングからの意見）

#### II 地域生活を充実し、社会参加を支援する

- 1 地域生活支援体制の充実
  - (1) 相談支援体制などの充実
  - (2) サービス提供体制の充実
  - (3) 福祉を支える人材の**確保**及び人材の育成・研修の充実
  - (4) 市町村における計画推進の支援
  - (5) ボランティア・NPO活動などへの支援
- 2 日中活動の場の確保
  - (1) 日中活動系サービスの確保・充実
  - (2) サービスの質の向上
- 3 住まいの場の確保
  - (1) 施設入所支援の機能充実とサービスの質の向上
  - (2) グループホームなどの確保・充実

相談支援体制等の充実・強化等、地域生活支援拠点等が有する機能の充実など（国基本指針）

障害福祉サービス等の質を向上させるための取組に係る体制構築（ワーキングからの意見、国基本指針）

障害福祉人材の確保（国基本指針）

高次脳機能障害、強度行動障害に対する支援の充実（国基本指針）

グループホームの質の向上（ワーキングからの意見、団体からの意見）

(3) 住宅の整備など

4 コミュニケーションの支援

- (1) コミュニケーション手段の充実
- (2) 情報バリアフリー化の推進・情報提供の充実
- (3) 手話を使いやすい環境整備の促進

読書バリアフリー法に基づく施策の追加

5 社会参加の支援

- (1) 交流・ふれあいの機会や多様な学習機会の拡大
- (2) 外出や移動の支援
- (3) スポーツ・文化活動の振興
- (4) 東京2020パラリンピック競技大会を契機とした支援

障害者文化芸術活動支援法に基づく施策の追加

### III 就労を進める

1 就労に向けた支援

- (1) 雇用の場の創出
- (2) 就労と職場定着の支援
- (3) 多様な働き方の支援

障害者の多様な働き方の支援（ワーキングからの意見、団体からの意見）

2 職業訓練の充実

- (1) 職業訓練体制の整備・充実
- (2) 職業教育の実施

### IV 共に育ち、共に学ぶ教育を推進する

1 障害のある児童生徒の教育の充実

- (1) インクルーシブ教育システム構築に向けた特別支援教育の推進
- (2) 教職員等の資質の向上
- (3) 相談体制、交流及び共同学習の充実
- (4) 学校施設の整備

2 自立できる力の強化

- (1) 高等部教育の充実
- (2) 高等教育を受けられやすくするための環境整備

### V 安心・安全な環境をつくる

1 療育体制の充実

- (1) 地域療育・相談体制などの整備
- (2) 発達障害児（者）支援の充実

難聴児支援のための中核的機能を有する体制の構築（国基本指針）

2 保健・医療サービスの充実

- (1) 健康づくりの推進
- (2) 難病患者支援の充実
- (3) 保健・医療体制の充実
- (4) 公費負担医療制度の充実

ペアレントプログラムなどの保護者に対する支援（国基本指針）

3 福祉のまちづくりの推進

- (1) まちづくりの総合的推進
- (2) 公共施設などの整備

アルコール・薬物等の依存症対策の推進（国基本指針）

